

# 特別講義



特別講義

- 1回完結型の講義です。  
受講しても単位の修得にはなりません。
- 応募者多数の場合は、抽選となります。

- 京都学習センター所属の在学生（休学中を除く）が受講対象者です。
- 開催方法は教員によって異なります。

Web申込【Googleフォーム】  
1月6日から申込受付開始

講義ごとのURLまたはQRコードから申し込んでください。  
※申込締切日を過ぎると、Googleフォームにアクセスできません。

- Googleフォームから送信した後に受付完了メールが届きますので、必ず確認してください。
- 当日、学生証をお持ちください。
- 当日ご都合が悪くなった場合は、事前にご連絡ください。
- 無断欠席が続く場合、受講をご遠慮いただく場合があります。
- Googleフォームからの申込方法がご不明な方は、京都学習センターまでお問い合わせください。

抽選結果は、講義開催日の1週間前に[放送大学キャンパスメール](#)に連絡します。

対面式：京都学習センターの講義室等で受講する方式です。 Web式：自宅で受講する方式です。

2/26(木)  
13:30~15:00

対面式 30名

## 四国の牛鬼

(\*2025年3月5日特別講義と同じ内容です)

申込締切：2月11日（水）



片岡樹先生

牛鬼とは、愛媛県の祭礼における神輿に付随した練り物として知られている。本講義では、次の二つの点から、そもそも牛鬼とは何かについて考えたい。第一には、練り物としての牛鬼には何が求められているのかという点を考えてみる。牛鬼は一般には神輿行列の露払い役だと言われているが、祭礼にはそれだけでは説明できない場面も多い。第二に、牛鬼をその周辺の伝説群との関係でとらえてみる。牛鬼伝説は一般には妖怪伝説に含まれるが、牛鬼には妖怪伝にとどまらない役割を期待される場合もある。以上二点から、我々にとって牛鬼とは何なのかについて、その座標軸を考えたい。



<https://x.gd/WWYzV>

2/6(金)  
13:30~15:00

対面式 30名

## アフガニスタン —これまでとこれから

申込締切：1月22日（木）



嶋田晴行先生

近年、世界では紛争が絶え間なく起こっています。ウクライナ、パレスチナ、さらにアフリカなどでも戦いは続いています。そのような中、本講義ではニュースなどではほとんど話題に登らなくなつたアフガニスタンの現状とこれまでの歴史的な経緯、日本との関係について取り上げます。なお、本講義は2025年3月に実施した特別講義の内容に最新の情報を加えたものとなる予定です。



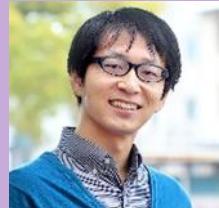
<https://x.gd/Wxaaf6>

**2/17 (火)**

15:30～17:00

Web式 30名

心の健康を保ち生きるために必要な  
「喪失体験」と「物語」の視点



倉西 宏 先生

申込締切：2月2日（月）

人生を歩む中で私たちは様々なものを失っていく。そしてその喪失は積み重なっていくと、我々の健康を損なう苦悩を与える。ただし、その喪失は自分自身が自分自身であることを教えてくれることがある。その喪失体験が自分の「個」を高め、個別性を生み出してくれる場合がある。喪失体験がその後の人生の歩みを導いてくれることさえもある。その渦中は苦難に満ち溢れていることがほとんど。ただ、後から道を振り返って見ると、喪失が自身の人生の物語を生み出していることにも気づくことがある。今回は、自身の人生を喪失体験と物語という観点から見直すことの意義についてお話しします。



<https://x.gd/XYW6D>

**2/18 (水)**

10:15～11:45

対面式 30名

自然主義と告白

申込締切：2月3日（火）



瀬崎 圭二 先生

日本の近代文学には、文章の近代化に努めた痕跡も認めることができます。明治20年代に二葉亭四迷が言文一致を実践したのがその嚆矢であると言えますが、それ以後も正岡子規による写生文の提唱や、徳富蘆花、島崎藤村らによる自然描写の試みがなされました。その延長線上に、対象を写実的、客観的に捉えようとする自然主義という文学潮流が生まれます。しかし、日本の自然主義は真実性を追求するあまり、特異な表現形式を派生させます。本講義では、島崎藤村の「破戒」や田山花袋の「蒲団」を中心に、そのような自然主義の成立と行方についてお話しします。



<https://x.gd/zhHM4>

**3/4 (水)**

10:15～11:45

対面式 30名

イスラーム世界論③  
ムスリムの五大義務の謎に迫る  
(断食編)

申込締切：2月17日（火）



長岡 慎介 先生

世界の18億人以上が信仰するイスラームには様々な教えがあり、ムスリム（イスラーム教徒）たちはそれを守って日々の生活を送っています。特に、五行と総称される五大義務行為は彼らの信仰実践の中心にあるものです。この講義では、五行のうち「断食」を取り上げて、その全容を紹介しながらその背後にあるイスラーム独自の思想について考えてみたいと思います。



<https://x.gd/awR26>

**3/6 (金)**

13:30～15:00

対面式 30名

## 祭礼継承に関する実践報告

申込締切：2月19日（木）



村山 弘太郎 先生

現代の日本においては、祭礼や民俗行事の継承が困難になりつつある、そこには外部からの支援という形で継承する方法もあるのではないかだろうか。本講義では、これまで実践してきた祭礼支援を紹介しながら、そこから見えてきた問題点を指摘したい。



<https://x.gd/h362W>

**3/10 (火)**

15:30～17:00

対面式 30名

## オセアニアの人々の時間利用

(\*2024年11月20日特別講義と同じ内容です)

申込締切：2月23日（月）



古澤 拓郎 先生

漁撈農耕で自給自足をするオセアニア（大洋州）島嶼部の人々は、生きるために必要なものの多くを周囲の自然から得ているため、労働が大変そうだと思われがちであるが、実は日本人よりもずっと少ない労働時間で生きている。彼らの事例を紹介しながら、世界各地の民族の時間利用について解説する。



<https://x.gd/7CSPn>

**3/26 (木)**

15:30～17:00

対面式 30名

## 生涯学：加齢観の刷新をめざす 学際的研究

(\*2024年11月29日特別講義と同じ内容です)

申込締切：3月11日（水）



月浦 崇 先生

「アンチ・エイジング」という言葉があるように、「エイジング」に対して多くの方が抱いている印象は、一般的にネガティブなものであると思います。確かに、年齢とともに心身の機能が低下することは避けて通ることはできませんが、その一方で年齢を重ねることでポジティブに変化する（成熟する）こともあるはずです。本講義では、成熟した「老い」へ向けて私たちが進めている「生涯学」と呼ばれる学際的研究の一端を紹介したいと思います。



<https://x.gd/BMj35>